自然災害への初期対応に関する品川区立学校のガイドライン

令 和 ８ 年 １ ０ 月 ８ 日

品川区教育委員会事務局

はじめに

近年、気候変動の影響等により、台風や集中豪雨、大雪、猛暑などによる自然災害の激甚化・頻発化が進んでおり、園児・児童・生徒の安全確保に向けた迅速かつ的確な判断がこれまで以上に求められています。

また、品川区においては、目黒川や立会川をはじめとする河川を有しており、集中豪雨や台風等の際には河川の増水や氾濫による浸水被害の発生が懸念されることから、気象情報や防災情報を踏まえた適切な対応が重要となっています。

こうした状況の中、東京都教育庁指導部指導企画課からの令和８年５月１２日付事務連絡により、新たな防災気象情報の運用開始を踏まえた災害時等の対応について通知がありました。これを受け、品川区教育委員会では、これまで運用してきた災害時等における対応について見直しを行い、より実効性の高い対応となるよう検討を進めてまいりました。

見直しの内容については、令和８年４月１日付事務連絡により各園・各学校へ周知したところですが、このたび、災害発生時等における判断や対応をより分かりやすく整理し、共通認識のもとで適切な対応を図るため、「自然災害への初期対応に関する品川区立学校のガイドライン」として改めて取りまとめました。

本ガイドラインは、暴風（台風）、大雪、大雨による河川氾濫に関わる警報等への対応をはじめ、雷、熱中症警戒アラート、震度５弱以上の地震発生時など、園児・児童・生徒の安全に大きく関わる事象への対応について示したものです。各園・各学校においては、気象情報や気象状況等を適切に確認し、状況に応じた迅速な判断と対応をお願いします。

特に、暴風（台風）、大雪、大雨による河川氾濫に関わる警報等への対応については、園児・児童・生徒の登校・登園時の安全を最優先に考え、翌日にガイドラインに示す判断根拠の状態となることが予想される場合には、前日までに区および教育委員会の判断のもと、区立学校・園において一斉に臨時休業とする対応を行います。各園・各学校におかれましては、保護者への周知や連絡体制の整備を含め、本ガイドラインに基づく適切な対応について御理解と御協力をお願いいたします。

今後も、品川区教育委員会は、園児・児童・生徒の生命と安全を最優先に考え、関係機関との連携を図りながら、安全・安心な教育環境の確保に努めてまいります。

令和８年１０月８日
品川区教育委員会事務局
教育総合支援センター

目次

暴風（台風）、大雨、大雪、河川氾濫に関わる警報等発表時 …… 4ページ

雷発生時 …… 7ページ

熱中症特別警戒アラート（東京都）または東京暑さ情報（品川区）発表時 …… 8ページ

熱中症警戒アラート発表時 …… 9ページ

震度5弱以上の地震発生時 …… 10ページ

対応全般に関わる留意事項 …… 11ページ

1　暴風（台風）、大雨、大雪、河川氾濫に関わる警報等発表時

判断根拠

◎暴風（台風）、大雨、大雪発生時における判断根拠

暴風 → 警報、特別警報が品川区に発表

大雨 → レベル4危険警報、特別警報以上が品川区に発表

大雪 → 特別警報が品川区に発表

◎大雨による河川氾濫時における判断根拠

→ 学区域の河川（目黒川・立会川・多摩川）に、
レベル4氾濫危険警報、氾濫特別警報以上が発表されている

警戒レベルに関わらず、本区に向かう同一方面からの JR・私鉄・地下鉄路線が、いずれも全面運休となることが決定した場合も上記判断根拠とみなす

新たな防災気象情報（令和8年度から）

	河川氾濫	大　雨	土砂災害	高　潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			

引用元：気象庁

登校・登園　判断

前日　時点

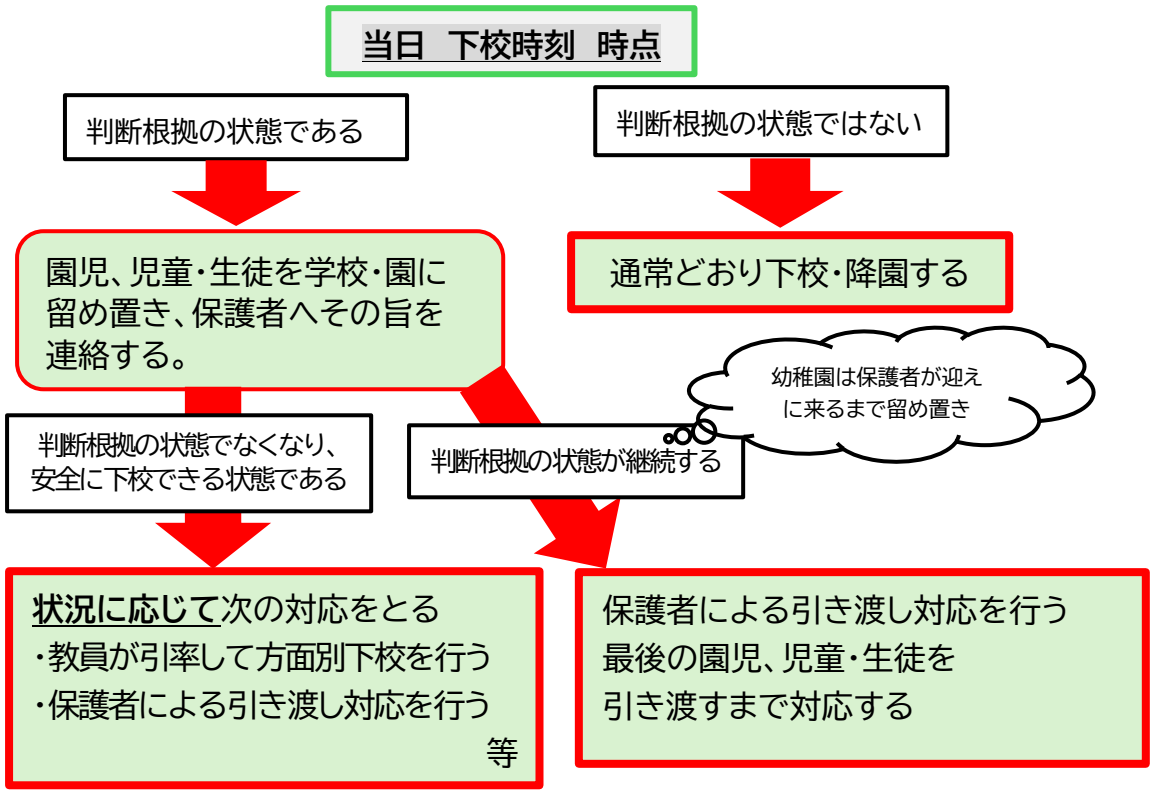
翌日に判断根拠の状態となることが予想される

一斉で臨時休業とする

対応詳細

- 前日時点で品川区が判断根拠に該当する状態となると予想される場合、全ての区立学校・園を臨時休業とし、天候が回復しても対応の変更は行わない。
- 一斉臨時休業を区教委が決定した場合、区ホームページと区 SNS を通じて区民へ周知する。
- 学校は、保護者向け連絡アプリと学校ホームページにて各家庭へ臨時休業に関わる連絡を行う。また、学校ホームページにも、臨時休業となったことを掲載する。
- 一斉臨時休業となっていない場合に、線状降水帯による学区域（立会川・目黒川・多摩川）の河川氾濫が予測される等、児童・生徒の安全確保が難しいと当該校校長が判断する場合、当該校は臨時休業や登校時刻の変更等の対応を行う。その場合、当該校は、教育総合支援センターへの報告と、当該校保護者への連絡を行う。
- 災害に関する対応が長期化することが想定される場合、学校は一人一台端末を活用して家庭学習を提示する等、学習の保障を行う。

下校・降園　判断



対応詳細

・下校時刻の時点で上記判断根拠に該当する状態である場合
安全確保のため、園児、児童・生徒を学校に留め置く。

・下校時刻以前に、気象状況等から

・学校・園は、保護者向け連絡アプリと学校ホームページにて、園児、児童・生徒を留め置き、降園・下校時刻が遅れることを連絡する。

◎上記判断根拠に該当する状態が継続する場合
保護者による引き渡し対応を行い、園児、児童・生徒の安全を第一に考え、最後の園児、児童・生徒を引き渡すまで対応する。

2 雷発生時

判断根拠

次のような変化を感じた場合、積乱雲が近づいているサインであり、まもなく激しい雨、雷、竜巻等の激しい突風が起きるおそれがあるため、学校・園は、園児、児童・生徒の安全確保を第一に適切に対応する

- 雷の音が聞こえてきた
- 真っ黒い雲が接近してきた
- 急に冷たい風が吹いてきた

降園・下校　判断

気象状況や方法、帰宅にかかる時間を総合的に判断して安全が確保できるまで、学校・園に留め置く。下校が遅れる場合は、保護者向け連絡アプリと学校ホームページにて園児、児童・生徒を園・学校に留め置き、下校が遅れることを連絡する。

屋外での教育活動および部活動　判断

（1）屋外での教育活動および部活動を中断し、速やかに屋内に避難する。
（2）安全が確保できるまで活動は行わない。



3　熱中症特別警戒アラート（東京都）または東京暑さ情報（品川区）発表時

判断根拠

熱中症特別警戒アラート → 東京都に発表

東京暑さ情報 → 品川区に発表

登校・登園　判断

・各種アラート発表時（登校日の前日）に、保護者向け連絡アプリ等で各家庭に熱中症対策の注意喚起を行う。

・発表の日が週休日であることも想定し、事前に保護者に各種アラート等発表時の対応について周知することが望ましい。

・保護者が適切な熱中症対策が取れず、登下校に危険が生じると判断して安全のため児童・生徒の登校を見合わせた場合は、欠席扱いとはしない。その際、授業のオンライン配信等を行い、学習の機会を保障する。

降園・下校　判断

・暑さがピークを迎える下校時に暑さ指数（WBGT）が35を超えている場合は、気象状況や方法、帰宅にかかる時間を総合的に判断し、安全が確保できる状況・方法で下校させられるまで、空調設備が整っている環境で、読書や自習等で適切に対応する。その際、保護者向け連絡アプリや学校ホームページにて、園児、児童・生徒を園・学校に留め置き、降園・下校が遅れることを連絡する。

屋内での教育活動　判断

・適切な熱中症対策を実施した上で教育活動を実施する。
・「熱中症対策ガイドライン　追補版」（令和7年6月東京都教育委員会）に添付されているチェックリストに基づき、熱中症対策を徹底する。

屋外での教育活動および部活動　判断

・園児、児童・生徒の生命を第一に考え、中止または延期する。各家庭に中止または延期の連絡が行きわたるよう、事前に連絡体制を整えておく。
・部活動のために登校してきた児童・生徒に対しては、上記下校の際の対応に準ずる。
・週休日および夏季休業日の部活動については、登下校中の児童・生徒の負担を考慮し、屋内の部活動であっても原則中止する。

4　熱中症警戒アラート発表時

判断根拠

熱中症警戒アラート　➡　東京都に発表

屋内での教育活動　判断

・熱中症特別警戒アラート（東京都）または東京暑さ情報（品川区）発表時における対応に準ずる。

屋外での教育活動および部活動　判断

・日本スポーツ協会の熱中症予防のための運動指針に基づき、運動の可否を判断する。

WBGT℃	湿球温度℃	乾球温度℃		
31	27	35	**運動は原則中止**	特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合には中止すべき。
28	24	31	**厳重警戒**（激しい運動は中止）	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。10～20分おきに休憩をとり水分・塩分を補給する。暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。
25	21	28	**警　戒**（積極的に休憩）	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
21	18	24	**注　意**（積極的に水分補給）	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
			ほぼ安全（適宜水分補給）	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。



引用元
熱中症予防のための運動指針
日本スポーツ協会

5　震度5弱以上の地震発生時

下校･降園　判断

・学校（すまいるスクール含む）･園は、園児、児童･生徒を留め置き、保護者等への引き渡しとする

発生後の提出書類

発生後 30 分以内

（様式1）
震度5弱以上の地震発生時報告票

（様式2）
安否確認の状況報告書

発生後 2 時間以内

教育総合支援センター担当
指導主事宛て

電子メールにて



6　対応全般に関わる留意事項

（1）本ガイドラインに記載の無い事態（線状降水帯による水没等）により、園児、児童・生徒の登下校に危険が考えられる場合、または学校が避難所として開設された場合等の緊急時には、学校・園の判断で登校時刻を遅くしたり、下校時刻を早めたりして園児、児童・生徒の安全対策に努める。教育総合支援センターへの報告および保護者への連絡を行う。

（2）校長および園長は気象状況や地域の実態等を踏まえ、必要に応じて下校時刻の繰り上げ、集団下校、保護者引き渡し等の措置を講じることができる。ただし、近隣校（連携グループ）で対応について協議を行った上で実施し、教育総合支援センターへの報告および保護者への連絡を行う。

（3）年度当初に別添の保護者宛て案内を配布、または保護者向け連絡アプリで送付し、緊急時にはホームページでの連絡を行うことを保護者会等で周知する。加えて、別添の保護者宛て案内を学校ホームページに掲載する。保護者向け連絡アプリで送付する際は登録のない保護者にも必ず連絡が行き渡るよう留意する。

（4）休日または夜間に臨時休校となった場合は、保護者向け連絡アプリおよび区ホームページにより周知する。

（5）臨時休業等の判断に関わらず、学校の対応内容について事前に各すまいるスクールの担当者と共通理解を必ず図る。

7 参考資料

(1) 暴風(台風)、大雪、大雨による河川氾濫に関わる警報等の確認場所

◎各警報発表状況は、次から確認できる。
気象庁ホームページ https://www.jma.go.jp/jma/index.html

◎河川の水位情報は以下の場所から確認できる。
品川区防災情報
https://www.micosweb.jp/web/shinagawa-ku/quick01
気象庁洪水キキクル
https://www.jma.go.jp/bosai/risk/#elements:flood/lat:37.276102/lon:136.767769/zoom:12/colordepth:normal

(2) 雷に関わる情報等の確認場所

◎最新の雷の活動状況は以下の場所から確認できる。

気象庁 雷ナウキャスト
https://www.jma.go.jp/bosai/nowc/#lat:35.614116/lon:139.699917/zoom:13/colordepth:normal/elements:slmcs&slmcs fcst&thns

(3) 熱中症等の警戒アラートの確認場所

	熱中症特別警戒アラート	東京暑さ情報	熱中症警戒アラート
発表主体	環境省	東京都	環境省・気象庁
目的	重大な健康被害が生ずるおそれを発表。	区市町村別に災害級の暑さを情報提供し、対策を促すもの。	熱中症の危険性に対する「気づき」を促すもの。
発表基準	都内**情報提供地点11か所全て**における翌日の最高暑さ指数(WBGT)が**35以上。**	都内の**区市町村庁舎地点62か所いずれか**における翌日・当日の最高暑さ指数(WBGT)が**35以上。**	都内**情報提供地点11か所いずれか**における翌日・当日の最高暑さ指数(WBGT)が**33以上。**
発表時期	前日14時	前日16時、当日10時	前日17時、当日5時
主な伝達方法	環境省ホームページ 東京都ホームページ	東京都ホームページ	環境省ホームページ 東京都ホームページ

◎ 環境省ホームページ https://www.wbgt.env.go.jp/
◎ 東京都ホームページ https://wbgt.metro.tokyo.lg.jp/
◎ 日本スポーツ協会ホームページ(熱中症予防のための運動指針)
https://www.japan-sports.or.jp/medicine/heatstroke/tabid922.html

「

＜問合せ先＞

教育総合支援センター　指導主事
電話:03-5740-8200
ﾌｧｸｼﾐﾘ:03-3490-2007